



会 合

◆宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)の防災推進会議11日、帯広市内の北海道ホテルで開かれた。

同社職員、管内外の協力会社などから200社、計420人が参加。東日本大震災の犠牲者に黙とうをささげた。宮坂社長は「当社は今年創業90周年を迎える。24時間防災対応企業としての対応を強化し、地域の建設業として原点に帰って、現場第一主義でやっていきたい」と述べた。写真。安全表彰を行い、土井組の土井清代表取締役が企業表彰、横河工事の尾崎祐司職長が職長表彰を受けた。帯広労基署の渡部智署長、帯広署の野澤和雄交通課長、市消防本部の金津洋予防担当課長が指導。土木本部の中原孝行氏が安全決意宣言を行い、同部の伊藤幸輔さんの言葉で閉会した。